

愛知登文会ニュース

第6号

平成25年12月25日号

1 事業実施報告「文化財建造物保存・活用講座」(2013年度)

第1回 現地視察「知多岡田の街並みと登録文化財」

7月11日(木)に知多市の岡田地区を視察しました。知多岡田は江戸時代から知多木綿の特産地として栄え、現在でも貫継問屋や工場主の家が並び、黒板塀や土壁、蔵など趣きのある光景が残っています。3月に登録有形文化財の告示があった「知多岡田簡易郵便局」と登録申請中の「木綿蔵・ちた」、さらに今後登録が検討されている「雅休邸」を中心に視察し、建物の特徴や知多岡田の街並みについてお話を伺いました。

| H25.7.11(木) | 内容 | 参加者 |
|-----------------|--|-------------------|
| 9:30~ | ①知多岡田簡易郵便局と木綿蔵・ちたの説明・見学 | 28名 (講師・事務局含む) |
| 10:00~ | ②ガイドボランティアによる知多岡田の街並み案内 | |
| 11:00~ 12:00 | ③知多岡田の街並みや建築についてのお話 —雅休邸にて— ・知多岡田の街並み紹介DVD鑑賞 ・瀬口哲夫先生(名古屋市立大学名誉教授)のお話、質疑・応答 | |



明治35年建築の知多岡田簡易郵便局



街並み見学、建物も道なりに曲がっている



雅休邸1階、専門家等からお話を伺った

第2回 現地視察「八丁味噌カクキュー」

9月23日(月)に岡崎市にある八丁味噌カクキューを視察しました。愛知県で最初に登録有形文化財に登録された本社事務所及び蔵(史料館)、また敷地内にある歴史的な建物などを専門家や所有者、ボランティアガイドより案内いただき見学しました。(※あいちトリエンナーレ2013と連携して実施しました)

| H25.9.23(月祝) | 内容 | 参加者 |
|--------------|---|-------------------|
| 10:00~ | ①岡崎のまちとカクキューの歴史等についての説明 | 26名 (講師・事務局含む) |
| 10:25~ | ②2グループに分かれて登録有形文化財を見学 ・本社事務所—解説:河田克博先生(名古屋工業大学大学院教授) ・蔵(史料館)—案内:ガイドボランティア | |
| 11:25~12:00 | ③その他の蔵や建物の見学 | |



最初に文化財登録の経緯や味噌づくりなどを伺った



本社事務所(国登録有形文化財)の1階事務所スペース



時代によって積み方が違う石垣

第3回 現地視察「旧加茂郡銀行羽黒支店 & 吉野家住宅」

11月26日(月)に、犬山市羽黒地区にある2つの登録有形文化財「旧加茂郡銀行支店」と「吉野家住宅」を視察しました。旧加茂郡銀行羽黒支店では、犬山市及び小弓の庄企画運営委員会の方から建物の改修や、現在「小弓の庄」としてまちづくり・むらおこしに取り組まれている活動内容について伺いました。また、小弓鶴酒造を営む吉野家住宅では、長谷川会長より建物について解説いただくとともに、国登録有形文化財の離れにて所有者よりお話を伺いました。また、古酒・お抹茶によるおもてなしを頂戴しました。

| H25.11.12(火) | 内容 | 参加者 |
|-----------------|---|-------------------|
| 14:00~ 15:10 | ①旧加茂郡銀行羽黒支店の見学・お話 ・建物の歴史や改修についてのお話(犬山市地域活動推進課) ・現在の活用についてのお話(小弓の庄企画運営委員会) | 20名 (講師・事務局含む) |
| 15:20~ 17:00 | ②吉野家住宅の見学・お話 ・建物についてのお話(愛知登文会 長谷川良夫会長) ・酒蔵のビデオ鑑賞 ・離れにて古酒・抹茶によるおもてなし、お話と質疑応答(吉野家当主) | |



旧加茂郡銀行羽黒支店の内部



吉野家住宅主屋・門



吉野家住宅離れで所有者よりお話を伺った

第4回 現地視察「有松・棚橋家住宅 & 中濱家住宅」

11月21日(木)に、名古屋市有松地区にある2つの登録有形文化財「棚橋家住宅」と「中濱家住宅」及び有松の町並みを視察しました。有松は、東海道の鳴海宿と池鯉宿(知立)両宿の間に茶屋集落として開かれたところで、「有松絞」の製造・販売によって発展し、塗籠造や虫籠窓、卯建などの特徴を持った商家が現在も街道沿いに軒を連ねています。棚橋家と中濱家では所有者より建物をご案内いただき、保存・活用にかかる苦労話や文化財に対する想いなどをお話いただきました。また、有松は近年道路の美装化や電線類の地中化が行われるなど町並み保存の取り組みが進められています。あわせて、名古屋市歴史まちづくり推進室より行政の取り組みについてお話いただきました。

| H25.11.21(木) | 内容 | 参加者 |
|-----------------|--|-------------------|
| 10:00~ | ①棚橋家にて：お話と棚橋家の見学 ・有松の歴史やまちづくりについて(名古屋市歴史まちづくり推進室) ・棚橋家及び建物の改修について(棚橋恭子氏、三井富雄氏) ・棚橋家の見学、質疑応答 | 19名 (講師・事務局含む) |
| 11:00~ 12:20 | ②2グループに分かれて見学 ・中濱家の見学とお話(中濱豊氏) ・有松の町並み見学(有松あないびとの会による案内) | |



棚橋家住宅にて、改修を担当された三井氏より解説いただいた



有松あないびとの会にまちを案内いただいた



中濱家住宅にて、所有者より案内・解説いただいた

2 事業実施報告「こども文化財ガイド事業」(2013年度)

「こども文化財ガイド事業」は、地域の文化財建造物について学び、魅力を体験し、その成果をこども達自身の言葉で来訪者にガイドすることで、こども自身が地域文化への関心を高めるとともに、地域の人々の注目を集め、県下あるいは全国への情報発信力を高めていくことを目的に、昨年度より実施しています。地域の小学生が参加し、今年度は全3回の連続プログラムを下記の3カ所で開催しました。

半田赤レンガ建物 (半田市)

半田赤レンガ建物は、1898年に丸三麦酒株式会社ビール工場として建てられ、レンガ造としては日本で4番目の規模を誇る貴重な建物です。近隣2校の小学4～6年生9名が参加し、赤レンガ建物の三つの意義(建築物としての遺跡・郷土産業の遺跡・戦争の遺跡)や、安定した室温に保つための五重の複壁・火災に強い耐火床・ビール樽の形に削られた貯蔵庫内の壁などビール工場としての特徴や、カプトビールのエピソードなどについて学び、最終日は赤レンガ建物の一般公開日にあわせて実施し、2日間で学んだ成果を来場者へガイドしました。ガイドを終えたこども達からは、「赤レンガに興味を持ってもらえたことが一番嬉しかった」「案内しているときにお客さんから反応があって嬉しかった」といった感想が聞かれました。

| 開催日時 | 内容 | 参加人数 |
|----------------|---------------------------------------|-------|
| 1日目: 8/26(月・祝) | 赤レンガ建物の魅力を体験しよう! -建物見学(公開されていない2~5階も) | 小学生9名 |
| 2日目: 9/15(日) | どんなふうに案内するか考えよう! -こどもガイド用ガイドブックを参考に学ぶ | 小学生9名 |
| 3日目: 9/22(日) | さあ本番、赤レンガ建物の魅力を伝えよう! -ガイド本番 | 小学生9名 |



1日目: 市の職員の案内で建物を見学



2日目: 建物について詳しく学んだ



最終日: 建物1階を一般客にガイドした

犬山城下町 (犬山市)

犬山城下町では、国登録有形文化財の建物だけでなく国宝犬山城や城下町のまちのつくりなどを含めて学ぶ機会とし、近隣2校の小学2～6年生7名が参加しました。2日間で犬山市文化史料館の城下町復元模型や、こどもガイドオリジナルのガイドブックを参考に、実際に城下町を歩いて城下町の町並みや町家の特徴について学びました。3日目のガイド本番では、一般公開されている国登録有形文化財の旧磯部家住宅を起点に、町家、車山蔵、札の辻などを一般の来場者へガイドしました。ガイドを終えたこども達からは、「お客さんと話ができて楽しかった」「お客さんが質問をしてくれて嬉しかった」といった感想が多く聞かれ、こども達にとってお客さんとのやり取りが充実した時間につながったようでした。

| 開催日時 | 内容 | 参加者 |
|----------------|---------------------------------------|-------|
| 1日目: 10/20(日) | 犬山城下町の歴史的建築物の魅力を体験しよう! -まちを歩いて見学 | 小学生6名 |
| 2日目: 11/4(月・祝) | どんなふうに案内するか考えよう! -こどもガイド用ガイドブックを参考に学ぶ | 小学生7名 |
| 3日目: 11/10(日) | さあ本番、犬山城下町の魅力を伝えよう! -ガイド本番 | 小学生7名 |



1日目: 城下町の模型の解説を聞くこども達



2日目: ガイドするコースと内容を確認



最終日: 旧磯部家住宅をガイドすることも達

鳳来館と大野のまち（新城市）

大野のまちは、江戸時代は秋葉街道の宿場町として、明治時代には別所街道が開通し林業・養蚕業によって繁栄しました。鳳来館は1925年に建てられた大野銀行本店の建物で、2009年にカフェ・ギャラリーとして生まれかわりました。近隣の小学6年生7名が参加し、地元の愛知県文化財保護指導委員の方が講師となり、まちの繁栄によって大野銀行本館ができたという背景から鳳来館だけでなく大野のまちの歴史や産業についても学び、最終日は鳳来館を訪れたお客さんを対象にガイドしました。また、江戸時代に旅人が大野でわらじを買い求めていたというところから、わらじ履き体験を行い、ガイド本番では子ども達がわらじを履いてまちを案内しました。参加した子ども達からは、「大野のまちのことが知れてよかった」「ガイドは練習したことが最初ではできなかったけど、2組目からはなんとかできてよかった」という感想が聞かれました。

| 開催日時 | 内容 | 参加者 |
|--------------|--------------------------------------|-------|
| 1日目：10/27(日) | 鳳来館と大野のまちの魅力を体験しよう！-大野について学び鳳来館を見学 | 小学生7名 |
| 2日目：11/9(土) | どんなふうに案内するか考えよう！-子どもガイド用ガイドブックを参考に学ぶ | 小学生7名 |
| 3日目：11/16(土) | さあ本番、鳳来館と大野のまちの魅力を伝えよう！-ガイド本番 | 小学生7名 |



1日目：大野についてのお話を聞いた後、わらじ履きを体験、最終日も着用



2日目：ガイドの解説文を考える子ども達



最終日：鳳来館をガイドする子ども達

3 事業実施報告「県外視察 京都市」－愛知登文会独自事業（2013年度）

12月3日に、「県外視察 京都市」を実施しました。今年度は保存・活用講座とは別に、愛知登文会の独自事業として実施しました。京都登文会の方々にご協力をいただき、山本家住宅・富田屋（とんだや）・橋本関雪邸洋館の国登録有形文化財3カ所を見学しました。それぞれ所有者の方にご案内をいただき、京都登文会の方々とも交流を深めることができました。ピークは過ぎていましたが、紅葉も楽しむことができました。



山本家住宅にて、ご当主(手前)にお話を伺った



富田屋は「西陣暮らしの美術館」として公開中



橋本関雪邸洋館の橋本氏(前列)と参加者

編集後記

今年度最初の登文会ニュースです。昨年度は文化庁補助事業の中で本ニュースを制作・発行してきましたが、今年度は残念ながら予算がつかず、会独自で制作・発行することになりました。しかしながら、これまで継続実施してきたその他事業は、今年度も文化庁補助事業と連携して実施しております。今後も、所有者の皆さまにとって意義のある活動となるよう努めて参りますので、引き続きご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。会へのご意見もお待ちしております。

愛知登文会ニュース 第6号

発行日：平成25年12月25日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10番3号
(一財)名古屋陶磁器会館内

TEL 052-935-7841 FAX 052-935-9592

E-mail info@aichi-tobunkai.org

URL <http://www.aichi-tobunkai.org>

FB <http://www.facebook.com/aichi.tobunkai>